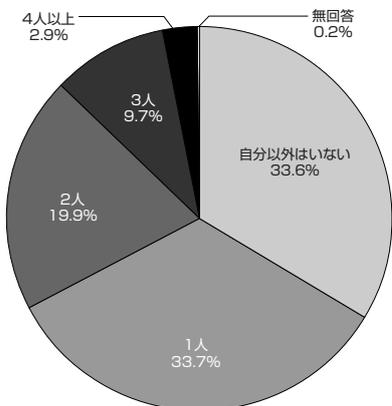


第3章 パソコン利用者

家族の利用/満足度と課題

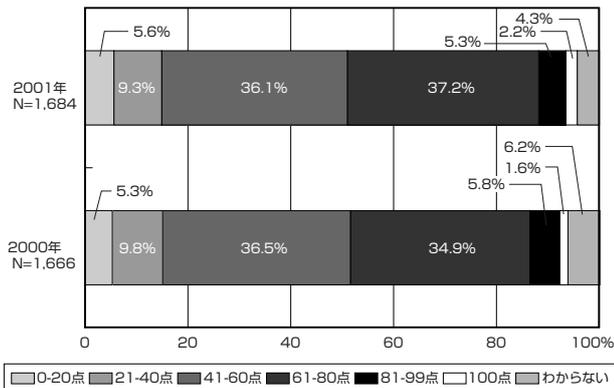
世帯内利用人数の増加傾向続く

資料 1-3-64 インターネットを利用している家族人数 N=1,684



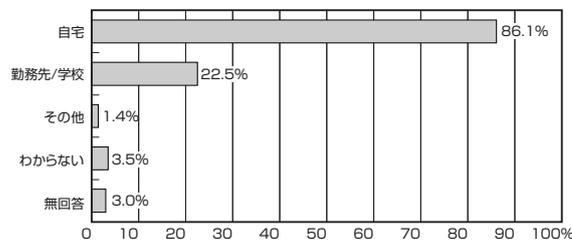
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-66 インターネットの満足度 (100点満点) (2000年-2001年)



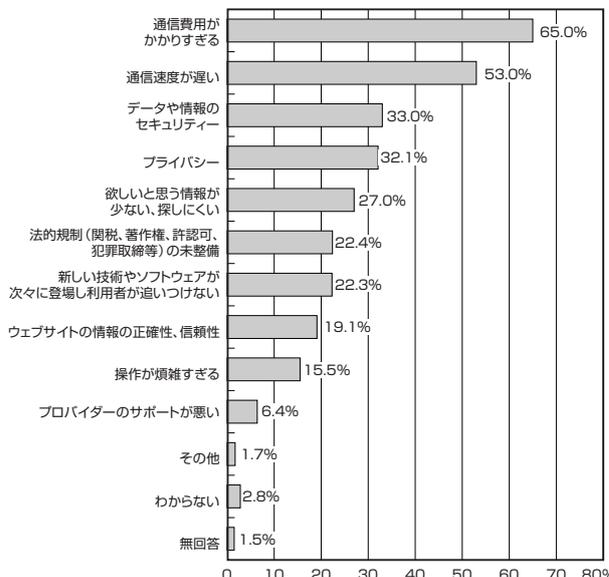
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-65 家族のインターネット利用場所 N=1,118



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-67 今後のインターネット利用に関する課題 N=1,684



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

解説

■ 家族の利用

昨年も同じ傾向であるが、このところのインターネット利用人口増加の大きな要因として同一世帯内での利用人数の増加が挙げられる。回答者以外にもインターネット利用者が家庭内にいるかどうか聞いたところ、66.2%は複数人がインターネットを利用している世帯であることがわかった。また、昨年に比べると複数人のインターネット利用世帯比率はほぼ同率であるものの、回答者以外の利用人数が「3人」(昨年8.2%から今年9.7%)、「4人」(昨年2.0%から2.9%)と増加傾向にある。

また、利用家族のインターネット利用場所はほとんどが自宅で8割を超える。一方勤務先・学校も2割以上みられる。これは複数回答であるため、1人当たりの利用場所は1.17となっている。

■ 満足度と課題

インターネットの満足度を100点満点で評価してもらったところ、全体の平均点は60.3点で、昨年の60.2点とほとんど変わっていない。インターネット利用に関する今後の課題では、「通信費がかかりすぎる」(65.0%)、「通信速度が遅い」(53.0%)、「データや情報のセキュリティ

」(33.0%)、「プライバシー」(32.1%)といった項目が上位に挙げられており、昨年の傾向と同様である。それぞれを性別年別に見ると、「プライバシー」は女性で、「データや情報のセキュリティ」は男性で高くなっているのが特徴である。通信費、通信速度というハード面とセキュリティ、プライバシーというソフト面の両面ともインターネットにとっては普遍的な課題であるといえる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp